



平成28年5月16日

各 位

会 社 名 エア・ウォーター株式会社  
代表者名 代表取締役会長 豊田 昌洋  
(コード：4088、東証第一部・札証)  
問合せ先 広報・IR室長 松井 俊文  
(TEL 06 - 6252 - 3966)

### 新中期経営計画「NEXT-2020Ver.3」を策定 (2016年度～2018年度)

エア・ウォーター株式会社(代表取締役会長・CEO:豊田昌洋、以下、エア・ウォーター)は、2016年度を初年度とする3か年の中期経営計画『NEXT-2020Ver.3』を策定しました。この『NEXT-2020Ver.3』は、2010年度を初年度とし、20年度までに売上高1兆円を目指す長期成長ビジョン「NEXT-2020 1兆円企業ビジョン」の第三ステップに位置づけられるものです。

NEXT-2020の歩みを振り返りますと、2010年度～2012年度の中期経営計画「NEXT-2020Ver.1」では、1兆円企業ビジョン実現のための地盤固めを進めました。

そして、2013年度～2015年度の前中期経営計画である「NEXT-2020Ver.2」では、1兆円企業ビジョンに向けての成長・飛躍を目指し、「成長と改革への挑戦」をキーワードとして、各事業分野で主要施策を実行してきました。

この6年間で、当社グループは、売上高で2,342億円、営業利益で113億円、経常利益で61億円、当期純利益で62億円の増収増益となりました。

また、この期間の株主資本利益率(ROE)の平均は9.4%で、自己資本比率も40%前後を維持しており、財務の健全性を保ちながら、バランスのとれた成長を成し遂げてきました。

新中期経営計画「NEXT-2020Ver.3」(2016年度～2018年度)では、これらの前中期経営計画までの成果や足跡を踏まえながら、「1兆円企業ビジョン実現に向けての体質づくり」と「2020年以降の成長に向けての礎づくり」の2つを、取り組むべき経営課題と位置づけました。この2つの経営課題は、2020年度に1兆円企業を実現するために相応しい体制を整え環境変化に強い事業体質をさらに磨いていくことに加え、2020年以降も永続して成長発展する企業であることを目指し、その礎となる施策に今から着手していくことが必要であると認識しております。

このような背景において、『構造改革と持続成長へのさらなる挑戦』という新たな基本コンセプトのもと、当社の経営の基本である「全天候型経営」と「ねずみの集団経営」の真価をさらに高めるための取り組みを推進し、各事業分野の具体的な戦略実行によって計画を達成してまいります。

## 1. 新中期経営計画「NEXT-2020Ver.3」の経営目標

(単位:億円)

年度	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	7,000	7,700	8,500
営業利益	425	460	510
経常利益	420	460	510
当期純利益	230	260	290

### <経営指標>

経常利益率	6%以上	自己資本比率	40%
ROE	10%以上	ネットD/Eレシオ	0.75倍以下

## 2. 新中期経営計画「NEXT-2020 Ver.3」の基本コンセプト

新中期経営計画「NEXT-2020 Ver.3」の基本コンセプトを「構造改革と持続成長へのさらなる挑戦」とし、次のような実行施策を策定しました。

### (実行施策1) 事業構造改革の実践による企業体質の強化

- ・あらゆるものの構造改革への挑戦
- ・事業基盤強化のための戦略投資の実施
- ・コーポレート機能、コンプライアンス機能の強化

### (実行施策2) 極限のソリューションサービス追求とイノベーションの実現

- ・顧客ニーズに適った最良の製品、サービスの追求
- ・地域を中心とする事業強化によるALLエア・ウォータービジネスの推進
- ・グループ総合力による事業イノベーションへの挑戦

### (実行施策3) 「2020年度以降の成長」に向けての課題への挑戦

- ・ポストアクイジションによるM&A効果の最大化
- ・研究開発体制の再構築による新しい技術立社実現
- ・グローバル事業強化のための海外事業支援体制の構築

## 3. 新中期経営計画「NEXT-2020 Ver.3」のセグメント別 基本施策

### (1) 産業ガス関連事業

プラント技術力、営業力、グループ力で地域密着型の事業を徹底

### (2) 医療関連事業

病院向け事業全ての改革を推進し、グループ力の結集により強固な収益基盤を再構築

### (3) 農業・食品関連事業

M&Aにより、当社の事業に不可欠なビジネスを揃え、事業規模拡大そして各事業の成長を図る

### (4) エネルギー関連事業

エネルギー自由化による市場競争激化をチャンスと捉え、当社が有する技術、サービス、インフラをフルに活かしたビジネスモデルを構築

### (5) その他事業

日本海水は、環境事業に注力し第2の柱へ。タテホ化学は、響灘工場稼働により最適生産と拡販を実行。その他の事業群は、技術とグループシナジーの追求で更なる成長を目指す。

## 4. 投資計画

3か年投資合計	設備投資	M&A投資
2,400億円	1,800億円	600億円

#### (設備投資)

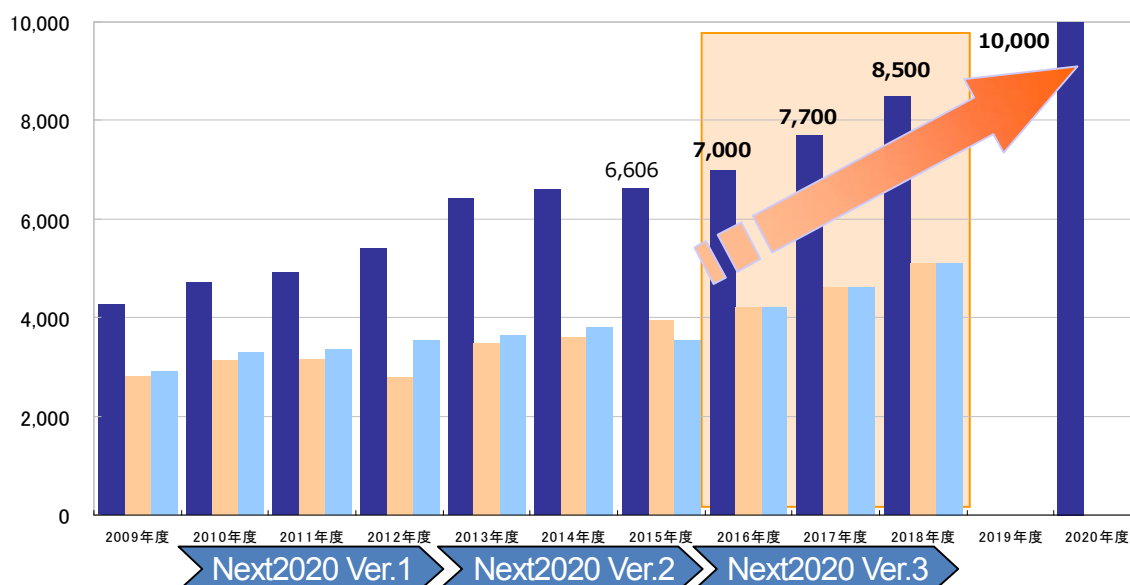
- ・VSUプラント建設、大型オンサイト建設、滅菌センター新設、電力事業、等

#### (M&A投資)

- ・年間200億円、3か年総額600億円
- ・既存分野、成長分野、新規分野を問わず、グループ総合力の最大発揮に向け積極投資

## 5. 2020年度1兆円企業をめざして

新中期経営計画の最終年度となる2018年度の業績目標は、売上高8,500億円、営業利益510億円、経常利益510億円です。この数値は、2010年度の中期経営計画Ver1スタート時から見ますと、売上高で2倍と決して小さな目標ではございませんが、当社は再び連続増益へのスタートラインに立って新たな挑戦、常に一步前進、言うならば「エア・ウォーターの誇りと自負」を持って取組んでまいります。



以上